



スタッフのつぶやき

サポートのスタッフが、読者の皆様一言お話しさせていただくコーナーです。

いつもご愛読を頂き、ありがとうございます。管理部大橋です。

新型コロナウイルス感染症で医療関係の方をはじめ感染防止にご尽力されている皆様に深く感謝申し上げます。

私は5月の連休はおとなしく自宅で過ごしました。

会社の方は、4月21日から在宅勤務になり手元に書類がなく戸惑いでしたが、2、3年前から書類の電子化を少しずつ行ってきたのが良かったのか、事務職でありながら何とか仕事が出来ております。

電話もあまりかかってこず、宅配のチャイムで出ることもなく、営業（迷惑電話）の電話に対応することもなく集中しております。このようなことがなかったら、こんな経験をすることもなかったでしょう。

5月末までの延長も発表され、しばらくはこの状態が続くと思います。

ただ、みんなとの雑談の中で多方面の気づきがあったので、その情報が得られず残念です。

早く通常の生活に戻ることを祈っております。

管理部 大橋 美佐子



IT雑情報

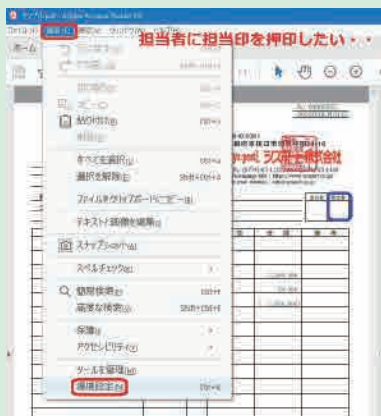
【電子印鑑】

このコーナーではITに関わるいろいろな情報をお届けします。

テレワーク（在宅勤務）が本格的に始まり、提出する書類もデジタル化していると思います。見積書や納品書、請求書などの書類にどうやって印鑑を押すの？……という方も多いはず。

そこで、今回は、“Adobe Acrobat Reader”を使ってPDFファイルに電子印鑑を押すやり方を紹介しますね。実際、**巻Q**も利用していますよ！ では、早速！

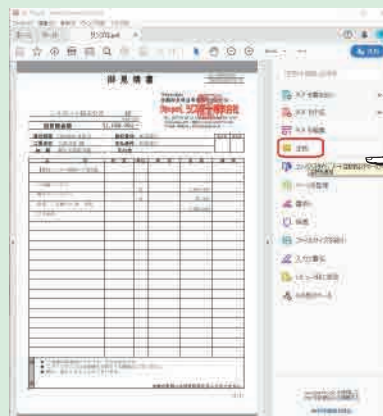
実は、電子印鑑をPDFファイルに押印するのは、とっても簡単です。



1. まずは、PDF ファイルを開き、“編集”→“環境設定”をクリックしましょう。



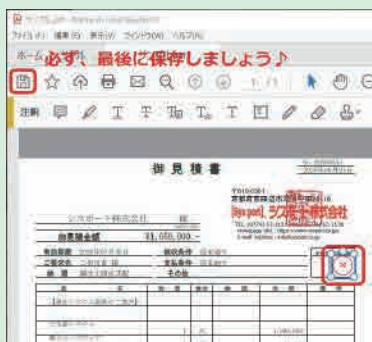
2. “環境設定”の“ユーザー情報”の姓名、会社名など必要情報を記入します。



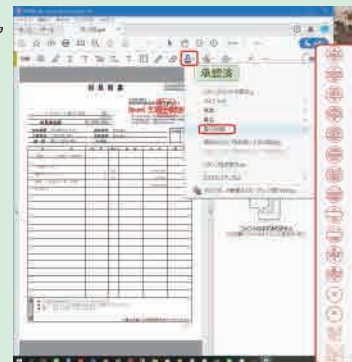
3. 必要情報を記入したら「OK」をクリックして、改めて“注釈”の“スタンプマーク”をクリック。



4. “電子印鑑”を選択すると、名前や会社名などいろいろなバリエーションの印鑑が表示されるので押印したい印鑑を選びましょう。



5. あとは、押印したい場所を決めるだけ！ 簡単でしょう？ 必ず「保存」しましょう！



電子印鑑での書類提出が認められている方は、紹介した方法を参考にして戴ければと思います♪ テレワークに関係なく、例えば Mail で書類を提出しても構わない場合などは、劇的に仕事が速くなります！

（巻Q）

読者 訪問



第125回

お伺いした会社
お話を伺った方
会社の所在地
連絡先など
事業内容
U R L

株式会社京都建築事務所
代表取締役 細見 建司 様
〒604-8083 京都市中京区三条通柳馬場東入中之町 10 番地
TEL:075-211-7277 FAX:075-211-7270
建築設計事務所
<http://www.kyoto-archi.co.jp/>

今回は、今年創立 60 周年を迎えられ、4 月に代表取締役社長に就任された細見社長をお訪ねしました。同社は 1956 年に京都大学工学部建築学科「西山卯三」研究室の院生が、学んだことを社会で実践するために「京都住宅相談所」を設立したのがはじまりだそうです。その後、1960 年に株式会社京都建築事務所として法人化され、今年 60 周年を迎えられました。細見社長は京都住宅相談所としての創業期から数えて 7 人目の社長にあたられます。

代々、世襲制ではなく社長を輩出されてきたそうですが、私は細見社長とは専務時代の 3 年ほど前に京都中小企業家同友会でお会いしました。同会には 40 年ほど前から、取締役の方が入っておられたそうで、会社としての同友会歴は大変長いものになります。



細見社長



健生病院 健生クリニック



国分生協病院



特別養護老人ホームはなみ



いなだ保育園

主な設計作品

同社は建築設計事務所としていろいろな建物の設計を手掛けてきておられるのですが、分野として病院など医療福祉関係の施主さんが多いそうです。建築施工は一切やらず、建築の設計・監理と建築に伴うコンサルティングの業務を担っておられます。

現在 20 名の社員さんがおられ、そのうち 12 名が建築士の資格を持って活躍されているとか。営業の方は特にいらっしゃらないそうで、これまでの顧客からの紹介やいろいろな人脈からの案件が多いとのことでした。

お話を伺ったときは、新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言が出ている真っ最中でしたが、しっかりと対策を講じていますのでお越し下さいと言うことで会社にお伺いしました。

入口でアルコール消毒し、通された広い会議室でしっかりと距離をとってお話しさせていただきました。コロナ対策で現在は、公共交通機関を使わずに来れる半数程度の方のみが出勤されているということで、GoogleChrome のリモートデスクトップを使ってテレワークもしているとのことでした。

同社ではマイナンバーが導入された頃にセキュリティの観点から UTM (Unified Threat Management: 統合脅威管理) 機器である FortiGate を導入されたそうですが、それが今となってはテレワークをするのに大変役立つことになりました。

まだまだ手探りで……とはおっしゃっておられましたが、設計図などを画面共有して利用するなどしっかりとテレワーク体制を実現されておられました。

コロナの影響で医療現場は大変な状況となっていますが、医療福祉関係の建物を設計するというのは社会の役に立つ建物を設計するという社会的意義を感じると共に、歴史の重みを感じつつ“続けること”の大切さと「想いを形に、想い以上の感動を」という理念をまっとうする大切さをひしひしと感じていますとおっしゃっていました。

医療福祉関係のインフラ整備という社会的意義のある業務をこれからも、しっかりと担っていただけることを願い、ますますの発展を祈念して同社をあとにしました。(米田)



いっちょかみ

“一丁嚙”が行く！

第139回：テレワーク体験記

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で 4 月上旬から一部社員のテレワークを実施し、緊急事態宣言が全国に発出された 21 日から全社員を対象にテレワーク体制に入りました。事務所も閉鎖し、やむを得ない場合を除いて出社を制限しました。

そんな状況のなかで、自宅での仕事が始まりました。

今までにも休日など自宅で仕事をすることがありますが、気が向いたときにする仕事と違い、通常の勤務時間で仕事をするのですからなんとなく気が張ります。自宅ではつい気が緩んでしまうのではないかと自信のなさからか、ちゃんとネクタイを締めてパソコンに向かい、12 時になったら昼休みを取って食事をし、また 1 時から頑張るというパターンで取り組みました。

数日は特にどうと言うことはなかったのですが、日が過ぎるに従い疲れが増してきました。

今まで、一日中社内においてデスクワークをしていますが、夜の 7 時や 8 時くらいまでは何の苦もなく仕事をしていたのですが、終業時間の 6 時が待ち遠しく思えてきたのです。一日中誰とも喋らず、動くのはトイレに行くときと昼ご飯をとるときくらい。100%一心不乱に集中している訳ではないのですが、喋らないことと動かないことに対するストレスが溜まってきたのですね。

社員の中にはテレワークが合っている者もありますが、どうも私には不向きなようです。とはいえコロナ対策上全社的に取り組んでいること。この経験が、働き方改革とは…、働き方の多様性とは…、を考える機会を与えてくれました。(一丁嚙)

TOPICS

IT導入補助金の公募が始まりましたが……

今年の IT 補助金は予想外の展開となりました。というのは、もともと公募要領(暫定版)等で 6 月初旬からと伝えられていた第 1 回目の公募が急遽 5 月 11 日から始まり、申請締切が 5 月 29 日という短期間で終了してしまいました。本誌及び添付チラシ等で公募内容をお伝えしようと思っておりましたのに、アッという間に終わってしまい大変残念です。

しかしながら、今年はあと 2 回、公募が予定されています。第 2 回目は 9 月と伝えられており、恐らく 8 月か 9 月初旬から公募が始まるのではないかと思います。また、応募には gBizID プライム(添付資料参照)が必要ですのでご準備下さい。

編集後記

新型コロナウイルス対策での緊急事態宣言が延長されました。感染拡大を阻止する意図は十分わかりますが、経済的打撃がこの先も大きく襲ってくることを思うと不安が募ってきます。経済活動の制限と補償の問題も大変関心があるところです。いろいろと問題はありますが、働き方をはじめ、考え方や生き方を考え直してみると天が与えた試練なのかも知れません。